※令和３年度以前入学生用

学校番号	C2101

令和５年度　公民科

科目	倫理	単位数	2	必要Ｓ出席数	2
使用教科書	倫理　（東京書籍）				
副教材等	なし				

	年間	１範囲	２範囲	３範囲
レポート	6	2	2	2
スクーリング	8	3	3	2
テスト	２回	あり	あり	なし
課題・実習等	試験の点数が低い場合、課題が課されることがあります。			

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちが普段、当然のように考えていることや、思想、学問は人類の長い歴史で積み重ねられてきたものです。日常生活で出会う物事には、思想的、宗教的な背景があることがよくあります。当たり前だと思っていたことにも、きっと発見があるはずです。なぜそのようなことがあるのかも考えて教科書は熟読して下さい。1 度読んだだけでは、わからないことが多くあると思います。何度も繰り返し読んでみましょう。範囲外であっても関連のところもぜひ読んでみて下さい。

２　学習の到達目標

・社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。
・選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理に関わる諸課題に関して理解するとともに、諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・倫理に関わる諸課題について、事実を基に概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて構想したりする力、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを記述する力を養う。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	倫理と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	倫理と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その課程や結果を適切に表現している。	倫理と人間に関わる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	倫理に関わる事象と、人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	・記述点検（レポート）	・記述の確認、分析（レポート） ・定期考査	・記述の確認、分析（レポート）	・記述の確認、分析（レポート） ・定期考査

- 学習指導要領（第１章第７款の４）に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除（面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除）の制度を活用する。
- 学年末に５段階で評価する。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

範囲	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
Ⅰ	青年期の課題と自己形成 人間としての自覚	・青年期の意義 ・青年期の課題と生き方 ・人間とは何か ・ギリシャの思想 ・ソクラテス ・プラトン ・アリストテレス ・キリスト教 ・イスラム教 ・仏教 ・中国の思想 ・儒家思想 ・老荘思想 ・芸術と人間	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a：青年期、ギリシャの思想、世界の宗教に対する関心を持って、意欲的に課題を追究し、よりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。 b：青年期、ギリシャの思想、世界の宗教的事項から課題を見いだし、その本質について考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その課程や結果を適切に表現している。 c：ギリシャの思想、世界の宗教に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d：青年期、ギリシャの思想、世界の宗教的事象と、人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	・レポート ・スクーリング ・定期考査
Ⅱ	国際社会に生きる日本人の自覚 現代を生きる人間の倫理	・日本人の精神風土 ・日本人のものの考え方 ・日本人の宗教観 ・日本人の倫理観 ・外来思想と伝統思想 ・仏教と日本人の思想形成 ・儒教の日本的展開 ・西洋思想と近代化 ・近代への啓蒙 ・近代的な自己の確立 ・創造的な思想 ・国際社会に生きる自覚 ・戦後思想の動向 ・国際社会での日本人 ・現代とはどういう時代か	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a：日本人の精神風土、倫理観、宗教観に対する関心を持って、意欲的に課題を追究し、よりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。 b：日本人の精神風土、倫理観、宗教観に関する事項から課題を見いだし、国際政治、経済事象の本質について考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その課程や結果を適切に表現している。 c：日本人の精神風土、倫理観、宗教観に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d：日本人の精神風土、倫理観、宗教観に関わる事象と、人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	・レポート ・スクーリング ・定期考査
Ⅲ	現代を生きる人間の倫理 現代の課題を考える	・人間の尊厳 ・社会契約説 ・カント ・民主社会の倫理 ・ヘーゲル ・功利主義 ・社会主義 ・新たな人間像の模索 ・主体性の回復を求めて ・現代の実存哲学 ・自然や科学技術と人間 ・民主社会の成熟の為に ・生命 ・家族 ・地域社会 ・情報社会 ・文化と宗教 ・環境 ・国際平和と人類の福祉	○	○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a：西洋思想、民主社会、現代の課題に対する関心を持って、意欲的に課題を追究し、よりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。 b：西洋思想、民主社会、現代の課題に関する事項から課題を見いだし、その本質について考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その課程や結果を適切に表現している。 c：西洋思想、現代の課題に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d：西洋思想、民主社会、現代の課題の課題に関わる事象と、人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	・レポート ・スクーリング

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解